

2022 韓国 IGP チャンピオンシップ

WUSV 世界選手権 韓国代表選考会



2022.04.16-17 主催：KKC

Anseong（服従/防衛）益山市（追求）

2019 年 11 月以来、2 年半ぶりに IGP 審査のために訪韓しました。その様子をレポートします。

【出発準備】

2007 年から毎年、審査あるいはセミナーのために訪韓しておりましたが、コロナの

影響で 2020 年と 2021 年の 2 年間は行く
ことができませんでした。今年の 1 月に
KKC から「4 月 16-17 日の WUSV 韓国代
表選考会に審査員としてなんとか来ていた
だけませんか」と打診された。コロナが収
まればと返事をしたが、内心は「はてさて、
行けるかな？」・・・。 韓国は 2022 年に
入ってからコロナ感染者が激増して、あっ
という間に感染者数世界一となっていた状
況だったので「こりゃ、やっぱり今年もム
リかな」と思っていたところ、3 月がもう
終わろうかというときに、KKC から「韓国
政府が 4 月からの規制緩和を発表しまし
た！たぶん韓国に入国できますから、すぐ

に準備をしてください！」大慌てでワクチン接種証明書を申請して、飛行機チケットの予約・・・、あれまー、韓国行きの飛行機がぜんぜん飛んでない。ネットで探しまくってなんとかチケットは確保。「出発前48時間以内のPCR検査」も2時間待ちの行列に並んで結果も陰性。なんとか金曜日に関西空港から出発した。関西空港は去年11月にスペインから帰国したときよりも、さらに閑散とした雰囲気でした。

【4/15 金・韓国入国】

1時間45分のフライトでインcheon空港に到着。飛行機を降りて、さてさて、感染者数世界一の国での入国検疫はどれだけ厳

しいのか？と思いながら入国審査ブースに向かって歩いている途中で、日本出国前に韓国への入国準備専用サイトに登録して発行された QR コードを専用端末に読み取らせる。それだけ。なんともあっけない。つい 2 週間前までは、そうはいかなかったらしい。日本人はワクチンを 3 回接種していても、韓国に入国できなかったのである。入国審査もいたってスムーズでした。到着ロビーで、迎えに来ているはずのリンさんを探す。スマホをいじってるリンさんを見つけて「こんにちは！」と声をかけると「いやー、早かったですねー、私は検疫でもっと時間がかかると思いました」と、びっく

りしていた。韓国の空港も関西空港と同じで人が少なく閑散としていた。ソウル市内の KKC 事務所に立ち寄り、シン会長にご挨拶をしてから、追求会場の益山市に向けて出発した。カーナビは、距離 250km、所要時間 3 時間、夜 8 時に到着と案内した。が、金曜日のソウルの渋滞はすさまじい、結局ソウルから走ること 4 時間、夜 9 時に追求会場近くのホテルに到着。明日の朝、5 時 30 分出発を確認して寝た（疲れた）。



KKC 事務所前
申会長

【4/16 土・追求】

いつもなら Anseong の服従/防衛会場近くの農林水産省施設裏の牧草地で追求を行う



のだが、どうやら借用できなかったらしく、今回は150km 離れた益山市の個人所有の牧草地で行われるとのこと。どこの国も（ヨーロッパ

でも）広大な面積を必要とする追求会場の準備は大変です。しかし、ビックリである、韓国では今まで見たこともない、とても広

くて綺麗な素晴らしい追求会場でした。合計 23 頭の追求を終えて、ソウル方面に 150km 戻る形で服従/防衛会場に移動。



【4/16 土・服従】

服従/防衛会場はここ近年、毎年同じ会場です。韓国の天然記念物に指定されている「豊山（プンサン）犬」の繁殖センターのすぐ近くのサッカー場で行われます。追求会場からその会場に午後 1 時 30 分に到着した。

すでに BH とオビディエンスの競技が午前中で終了しており、IGP の服従が始まるのを今や遅しとたくさんの人が待ちわびていた。午後 2 時から、IGP-VO、IGP1、IGP2 の順番で服従が開始された。審査をしていて「なんじゃこれは」と驚いた。異常にレベルが上がっているのである。



2 年半見ない間に日本なんぞはもう軽く追い越して、ヨーロッパ伝統国レベルである。なぜそうなったのか、私なりの分析は後ほ

どまとめて述べる。休憩なしで 13 頭の服従を終えて土曜日の競技はすべて終了。ホテルに戻り、すぐ近くの焼き肉屋でたらふく食べた。ビールと焼酎を混ぜた「爆弾酒」を一気飲みしながら盛り上がっている競技会スタッフと協会の人たちに「お先に失礼します」と告げて、一人でホテルに戻った。



IGP 성적

순번	과목	지도수	견명	A	B	C	총점	비고
1	IGP V	남현종	세퍼드/회로	93	77	M	170	
2	IGP I	이성호	마리노어즈/벤츠	—	—	—	—	
3	IGP I	이성호	마리노어즈/벤츠	—	—	M	M	
4	IGP I	나윤아	세퍼드/코난	96	78	96	270	
5		오서훈	마리노어즈/토비	98	94	92	284	3
6		이선우	마리노어즈/벨라	80	85	90	255	
7		김수연	마리노어즈/Devon	93	98	94	285	2
8		이경원	세퍼드/이루	94	82	86	262	
9		김태후	마리노어즈/보치	99	94	95	288	1
10		김재희	마리노어즈/파이	86	77	75	238	
11		안지화	마리노어즈/조니	75	91	95	261	
12	IGP II	이준규	마리노어즈/히든	85	93	99	277	1
13		이강민	도베르만/샤불	92	96	85	273	2
14		진장훈	세퍼드/Audi	95	83	83	261	3
15	IGP III	강미주	세퍼드/송리	43	93	M	136	
16		진병수	마리노어즈/champ	91	98	94	283	
17		신동찬	세퍼드/Divu	80	95	91	266	5
18		윤진석	세퍼드/빅보스	98	95	88	281	3
19		무아미	세퍼드/Elan	90	98	95	283	3 2
20		이길현	마리노어즈/Zorba	85	90	92	267	
21		김종욱	세퍼드/도니	83	86	83	252	
22		김동원	세퍼드/CYRANO	98	97	91	286	2 1
23		배준호	세퍼드/발레이	92	86	90	268	4
24		윤진석	마리노어즈/장치	100	95	94	289	1
25								

순번	과목	지도수	견명	A	B	C	총점	비고
26	IGP I	김진호	세퍼드/벨라	70	88	90	248	
27								

【4/17 日・服従/防衛】

日曜日、午前 9 時から IGP3 の服従が行われた。IGP3 においても、どの犬も完成度が高く、ハンドラーもスポーティーでマナーもよい。IGP3 の服従で 98 点なんてあなた、近年の私の審査歴では 2016 年の WUSV 世界チャンピオン Qvido Vepeden 以来です。いやはや、昨日から感動しっぱなしである。全犬の服従が終了して、いよいよ防衛の開始。日本ではなじみの少ない IGP-VO（IGP1 の前段階。台湾では出場頭数が多い人気のクラス）から開始。服従ほどの衝撃はなかったが、防衛も犬もハンドラーも間違いなくレベルアップしている。



【まとめ】

なぜ韓国の IGP は飛躍的にレベルが上がったのか？わたしなりに分析した結果は以下のとおりです。

● 韓国には「追求、服従、防衛という形態の競技会/ドッグスポーツ」は IGP しかありません。ですから必然的にすべての訓練士（アマチュアを含む）が繁殖の段階から

IGP だけに取り組むことになります。日本の場合は IGP のための繁殖よりも、IGP 以外の訓練に適した犬を作るための繁殖のほうが圧倒的に多いのです。

わかりやすく言えば、追求、服従、防衛を訓練しようとするとき、韓国では訓練者の 100% が IGP だけが目標なんです。日本は IGP だけを目標とした訓練者は全体の 5% にも満たないと思います。

● 健康な犬が多い。体の強さ、精神状態、とにかく日本の犬とは違う。極端に言えば韓国の犬が 100 とすれば日本の犬は 60～70 くらいの感覚です。韓国では犬の輸入に関する検疫が日本よりハードルが低く、常

時ヨーロッパから最新の、そして流行の血統犬が輸入できるのも羨ましい限りです。

● 若い人が多い。ハンドラーの平均年齢が20～30 代！なのであらゆる情報（最新の訓練方法など）の習得が早い。だからスタイル（身なりや訓練）が近代的でスマートです。韓国でも日本でも私と同年代の訓練士（私は自分自身も含めて昭和の訓練士と思っています）は、身なりも身のこなしも訓練スタイルも、なんか、古くさいのですが、若い人はやっぱりぜんぜん違います。

あと観客と応援団も雰囲気がいい。日本はどんよりと眺めて観戦する感じですが、韓国は手作りのボードを掲げて自分たちの仲

間を応援したりします。

コロナ禍が過ぎ去って以前のように韓国に気軽に出かけられるようになったら、ぜひ一度、韓国の IGP を生でご覧になってください。犬もハンドラーも観衆も雰囲気も「うわっホンマや、韓国すっごー」と必ず思いますよ。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

Masuda Haruo (Kyoto)